

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月21日 (2008.3.21)

【公表番号】特表2003-530369(P2003-530369A)

【公表日】平成15年10月14日 (2003.10.14)

【出願番号】特願2001-575212(P2001-575212)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 39/245 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 39/245

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 7/00

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月1日 (2008.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

病原体による感染症または癌を治療または予防するための薬剤であって、

(i) 機能性vhs遺伝子またはその機能性等価体を欠失しており、

(ii) 機能性UL43遺伝子またはその機能性等価体を含んでいる、

弱毒化ヘルペスウイルスを含み、ここで該ウイルスは樹状細胞に感染して免疫応答を刺激する、前記薬剤。

【請求項 2】

前記ウイルスが単純ヘルペスウイルス 1 または 2 である、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 3】

前記ウイルスがICP47をコードする機能性遺伝子を欠失している、請求項 1 または 2 に記載の薬剤。

【請求項 4】

前記ウイルスが、転写活性化活性を欠くタンパク質をコードするVMW65遺伝子またはその機能性等価体を有している、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 5】

前記ウイルスが少なくとも 1 つの機能性前初期遺伝子を欠失している、請求項 1 ～ 4 の

いずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 6】

前初期遺伝子が ICP0、ICP4、ICP22、ICP27 またはその機能性等価体をコードする遺伝子から選択される、請求項 5 に記載の薬剤。

【請求項 7】

前記ウイルスが ICP27 をコードする機能性遺伝子と ICP4 をコードする機能性遺伝子の両方を欠失している、請求項 5 または 6 に記載の薬剤。

【請求項 8】

前記ウイルスが ICP27 をコードする機能性遺伝子と ICP4 をコードする機能性遺伝子の両方を欠失しており、かつ、転写活性化活性を欠くタンパク質をコードする VMW65 遺伝子またはその機能性等価体を有している、請求項 4 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 9】

前記ウイルスが ICP0、ICP4、ICP22 および ICP27 をコードする機能性遺伝子類を欠失している、請求項 5 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 10】

前記ウイルスが機能性 ICP34.5 遺伝子またはその機能性等価体をさらに欠失している、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 11】

前記ウイルスが機能性 ICP34.5 遺伝子および機能性 ICP47 遺伝子を欠失している、請求項 10 に記載の薬剤。

【請求項 12】

前記ウイルスが異種遺伝子を含んでいる、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 13】

前記異種遺伝子が、樹状細胞における該異種遺伝子の発現を可能にする制御配列に機能的に連結されている、請求項 12 に記載の薬剤。

【請求項 14】

前記異種遺伝子が治療用のポリペプチドをコードしている、請求項 12 または 13 に記載の薬剤。

【請求項 15】

前記異種遺伝子が、腫瘍細胞またはその表面上における発現レベルが非腫瘍細胞と比較して増加しているポリペプチド；腫瘍細胞またはその表面上に存在するが非腫瘍細胞には存在しないポリペプチド；免疫応答を改変することができるポリペプチド；および寄生虫、ウイルスまたは細菌に由来するポリペプチド；から選択されるポリペプチドをコードしている、請求項 12 ～ 14 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 16】

前記ウイルスが 2 つ以上の異種遺伝子を含んでいる、請求項 12 ～ 15 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 17】

前記ウイルスが免疫応答をモジュレートすることができる 1 つ以上の異種遺伝子を含んでいる、請求項 1 ～ 16 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 18】

前記異種遺伝子がケモカイン、サイトカインまたは共刺激分子をコードしている、請求項 17 に記載の薬剤。

【請求項 19】

請求項 1 ～ 18 のいずれか 1 項に記載の弱毒化ヘルペスウイルスに ex vivo 感染させた樹状細胞を含む、病原体による感染症または癌を治療または予防するための薬剤。

【請求項 20】

前記樹状細胞がヒト樹状細胞である、請求項 1 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 21】

注射、注入、皮内もしくは経皮経路、またはバイオリスティック手段により投与するためのものである、請求項 1 ～ 2 0 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 2 2】

前記病原体による感染症がウイルス感染症である、請求項 1 ～ 2 1 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 2 3】

前記ウイルス感染症がHSV1感染またはHSV2感染である、請求項 2 2 に記載の薬剤。